

どきどき通信 No.4



勤労体験学習レポート!



平成 28 年 10 月 31 から 11 月 2 日までの 3 日間、市内の岳洋中学の生徒 2 名が勤労体験学習に来ました。そこで、埋蔵文化財センターで働いている職員の仕事内容とともに体験学習の様子を紹介します。

埋蔵文化財センターの仕事

準備 発掘する遺跡や周辺遺跡の過去の調査記録などを調べ、発掘調査の計画を立てます。

発掘調査 図面や写真等の記録を取りながら遺跡を掘ります。

資料整理・報告書作成

いぶつせんじょう

・遺物洗浄：出土した土器などについた土を洗い落とします。

ちゅうき

・注記：きれいになった遺物に番号などの情報を記入します。

・接合：出土した多くの土器片の中から同じ土器の破片を探して、組み合わせていきます。

・復原：破片が足りない部分は樹脂などをに入れて補填します。

・実測：遺物の大きさや模様を測って図（実測図）にします。

・図面整理・図版作成：現地で作成した図面を整理し、報告書に掲載する図版をパソコン等で作成します。

・写真撮影：報告書に掲載する遺物の写真を撮影します。

へんしゅう げんこうしつぷ

・編集・原稿執筆：調査内容をまとめた文章に図版・写真をレイアウトして、発掘調査報告書を作成します。

・印刷：出来上がった原稿を印刷し、本として刊行します。

収蔵保管 発掘調査資料を台帳等で管理し保管します。

出土遺物の他、図面や写真も適切に管理し、問い合わせ、貸出等に対応できるようにしています。

普及活用 埋蔵文化財からわかった菊川市の歴史を展示やイベントなどによって発信していきます。

岳洋中 2 年生が
勤労体験にきました。

体験したこと

1 日目

接合・復原(樹脂を使い修復)



2 日目

編集(パソコン上で報告書の見本を作成)

注記(土器に情報を記入)

写真撮影(土器の写真撮影)

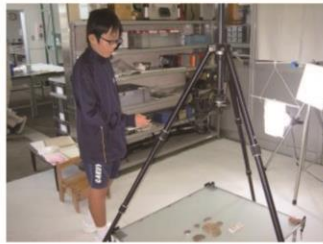


3日目

写真撮影

パソコン上で図版作成

遺物展示作業



どきどき通信の
作成にも参加して
くれたよ。



逸品 コーナー



槍先形尖頭器(やりさきがたせんとうき)

三沢西原遺跡から出土した旧石器時代の石器です。約2万年前と考えられます。

その名の通り、木の棒に付け槍の先として使用したと考えられます。

全長 11.4 cm、先端がわずかに欠けていますがほぼ完形品です。丁寧に作られ、製作に手間が掛かる石器は、破損しても直して使われるほど大切に扱われた例が多くあります。

これだけの大きさのものでしたので落としたり、なくしたりしたとは考えにくく、先端が欠けてしまったものを直そうと思っていたけれど、何らかの理由で直し損ねたのかもしれない。

文化財の寄贈を受けました

市内堀田在住の伊藤道子さんより山本横穴群出土の須恵器3点と耳環2点などの寄贈を受けました。山本横穴群は伊藤氏の自宅裏山の斜面に、今から1300年ほど前に作られたお墓で、須恵器は副葬されたものです。

耳環とは当時のイヤリングで金箔がきれいに残っています。寄贈を受けた時がちょうど勤労体験学習中だったので、さっそく展示作業もやってみました。

文化財の寄贈はいつでも受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また、寄贈していただかなくても、所蔵しているという情報だけでもお受けいたします。

特に現在、高田ヶ原古墳群、鹿島古墳に関する情報を探しています。



菊川市埋蔵文化財センター

どきどき

開館時間 8:15~17:00
定休日 土日 祝日 年末年始
入館料 無料

菊川市教育委員会 文化振興係
〒437-1514 静岡県菊川市下平川 618-1
TEL 0537-73-1137

勤労体験学習を終えて

◎勤労体験学習を今回行い、土器を大切にしている皆さんを見てとても感動しました(柴田拓海)

◎今回の職業体験を通して学んだことは、歴史がある遺物を後の時代に残すことの苦勞と大切さです。(市川諒)

